

みず・まち・自然 エンジョイ!米子

広
報

よなご

5

2022 May
No.206

◎特集

K-1 世界王者



武尊 たけける

特集

K-1世界王者

武尊^{たけ}_{ける}

米子市出身のK-1チャンピオン・武尊選手。
選手としてプロデビューしてから今年で10年、
格闘技の第一線で活躍し続けています。

今回は、6月に選手人生を賭けた「世紀の一戦」
を控えた武尊選手にインタビューし、これまで
のことやこれからのこと、そしてふるさと・米
子への思いに迫ります。

Profile

1991年生まれ。米子市出身のK-1選手。闘争本能むき出しのファイトスタイルでKO勝利を連発する姿から“ナチュラル・ボーン・クラッシャー”と呼ばれる。2015年に初代スーパー・バンタム級王者、2016年に初代フェザー級王者、2018年にスーパーフェザー級王者となり、K-1 史上初の3階級制覇を成し遂げた。

▶K-1とは？

1993年に日本で産声をあげた、"KOを目指して戦う"立ち技格闘技。

選手たちが「殴る・蹴る」で相手を倒すことを一番の上位概念とし、KOを狙う選手の姿勢、ダメージを伴う攻撃、倒しに行く攻撃・スタイル・姿勢が評価される。



弟分である晃貴選手の試合ではセコンドにつくことも



今でも帰省の際は米子ジムに立ち寄る

格闘技界全体を盛り上げられるトップに

ずっと空手をやっていたんですが、高校を中退したときは金髪にしたりピアスをつけたりしていたので、格闘技をやりたかったけど、礼儀や身だしなみを重んじる武道とは距離を感じていました。そんなときに米子ジム（米子市・二本木にあるキックボクシングのジム）を知って見学に行ったら、自分と同じように高校を辞めてしまった人たちが、若いときにヤンチャしていた人たちがいて。でも、みんな真面目に働किながら、スポーツを楽しんでいて、そんな姿にすごく衝撃を受けました。

僕が米子ジムに通っていると、試合前で皆が気を使って声をかけてこないときでも、晃貴（米子ジム出身のK-1選手）はまだ小さかったので「遊んで遊んで」って声をかけてきて。それがすごくかわいくて、僕も楽しかったし、癒しでした。男兄弟が欲しかったので、米子ジムの先輩たちがお兄さんで、晃貴たちが弟みたいな感じでうれしかったです。兄貴分である先輩たちに面倒を見てもらった分、弟分である後輩たちの面倒はたくさん見てあげたいです。

今、格闘技界を自分がトップに立って引っ張っていると思っても、自分が強くなっても全体の勢いは大きくなりません。後輩たちを育てて、格闘技界全体を盛り上げていける存在になりたいですね。

米子ジムがなかったら、今の自分はない

努力で築き上げたファイトスタイル

僕のファイトスタイルは努力で築いたもので、自分の強みだと思っ
ています。天才肌の選手は感
覚的なものが強いぶん、逆に一つ
でも感覚が狂うと勝てなくなる場
合が多い気がします。僕は目標を

達成するために、あれこれ理論を
立てて考えて、違ったら修正して、
を繰り返しています。自分は天才
ではないけれど、だからこそ10年
近く勝ち続けてこれたのかなと
思います。

真っ向勝負を繰り広げた2月のエキシビジョンマッチ



©K-1

格闘技を知ってもらうために

デビュー戦のときは格闘界が
低迷していて、試合もテレビで一
切放送しなかったし、チャン
ピオンになっても、どこの団体の
チャンピオンかわからないみたい
な感じで、格闘技があまり知られ
ていませんでした。だから、試合
に出るだけじゃなくて、注目を集
めるために、試合に勝ったらバク

転、KO勝ちしたときはバク宙(バ
ク転宙返り)するパフォーマンス
を始めました。

大会に出て一選手として終わる
のではなく、自分の見せ方も色々
考えて、色々試しています。自分
を知ってもらうことで、よりたく
さんの人が格闘技を知ってくれ
ば、と思います。



©K-1

K-1 入場の際に金色の着物風衣装を羽織った姿は話題を呼んだ



For You !

1 武尊選手からのメッセージ動画

今回の取材で、武尊選手から米子の皆さんへメッセージをいただきました！動画は米子市公式 YouTube をチェック！



米子市公式
YouTube



2 世紀の一戦が6月19日開催！

K-1 史上初・3階級王者の武尊選手と、RISE (立ち技打撃格闘技) の世界フェザー級王者の那須川天心選手の世紀の一戦が、6月19日に東京ドームで開催決定！米子から武尊選手を応援しよう！

地元で培ったものをパワーに変えて

米子ってすごく良いまちだと思います。もし都会に生まれていたら、子どもの時あんなに外遊びや運動をしなかったかもしれない。僕は地元が弓ヶ浜なので、海でたくさん遊びました。都会のほうが遊ぶところやお店がたくさんあって楽しそうだなと思う人もいるかもしれませんが、僕は東京に来て、自然に囲まれた米子の良さを再認識しました。米子に住んでいると当たり前と思うかもしれませんが

せんが、すごく素晴らしい環境だと思います。地元を愛して、地元で培ったものをパワーに変えれば、勉強でも仕事でもスポーツでも、絶対に達成できると思います。僕も地元のパワーをもらって、体と精神を鍛え上げて、ここまできました。6月の試合も、米子代表、鳥取代表として挑もうと思っています。米子の皆さんにも応援してもらえとうれしいです。絶対に勝って、米子に帰ります！